

# 三郷町ハザードマップ

発行 三郷町役場 総務課 危機管理室  
〒636-8535 奈良県生駒郡三郷町野野1丁目1番1号 ☎0745-73-2101 (代表) FAX 0745-73-6334 令和6年1月作成

**避難の心得**  
いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また災害の危険性が想定された場合には、情報を入力して、早めの避難を心がけましょう。

<b>状況により、すばやく避難しましょう</b> 避難情報などが発表されていなくても、雨の状況などから判断し、自主的に避難しましょう。	<b>家族には連絡メモを残そう</b> 外出中の家族には、「どこへ避難する」といったようなメモを残しておく良いでしょう。
<b>防災メモを持とう</b> 高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。	<b>集団で助け合おう</b> 単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。
<b>車での避難は控えて</b> 車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。	<b>安全なルートで避難</b> 避難への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。
<b>持ち出し品は最小限に</b> 非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。	<b>避難所では指示に従いましょう</b> 避難所に着いたら、係の人の指示に従い、住所・氏名などを報告しましょう。

**避難行動 <立退き避難・屋内安全確保と緊急安全確保>**  
「避難」とは、「難」を「避」けること、安全を確保することです。危険な場所にいる人は、避難場所や親戚・知人宅等へ避難してください。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。避難し遅れたために、安全な場所に避難できない場合は、命を守る行動をとってください。

<b>立退き避難</b>	<b>屋内安全確保</b>	<b>緊急安全確保</b>

**台風時の停電への備え**  
台風時は強風、飛散物により電線が切れるなどして、停電が発生し、照明や冷暖房が使えなくなることがあります。また、被災状況によって復旧作業が遅れ、停電が長期化することがあります。停電や停電に伴う断水に備えて、懐中電灯、携帯ラジオ、予備のバッテリー、防寒具、非常食、飲料水などを準備しておきましょう。

**インターネットによる防災情報の入手先**

<b>三郷町ホームページ</b> 三郷町の避難所や災害・防災情報、浸水区域内要配慮者利用施設の一覧表など 三郷町 検索 https://www.town.sango.nara.jp/	<b>川の防災情報</b> 全国の雨量や水位、洪水予報に関する情報など 川の防災情報 検索 https://www.river.go.jp/	<b>気象庁/奈良地方気象台</b> 奈良県の気象・防災情報など 奈良地方気象台 検索 https://www.jma-net.go.jp/nara/index.html
<b>大和川河川事務所</b> 大和川の水位情報など 大和川河川事務所 検索 https://www.kkr.mlit.go.jp/yamato/index.php	<b>キキクル(危険度分布)</b> 大雨による災害発生危険度など キキクル 検索 https://www.jma.go.jp/bosai/rik/	<b>雨量/水位リアルタイム情報</b> 奈良県の雨量・水位観測所の観測データ 奈良県 雨量 検索 http://www.pref.nara.jp/18268.htm

**三郷町行政放送メール配信サービス**  
防災行政無線で放送する内容と同内容を文章でメール受信  
登録の手順  
①QRコードから登録用アドレスに空メールを送信してください。  
②返信されるメール内のURLから、登録画面に進んでください。  
③案内に従って登録作業を行ってください。  
※メールフィルタを有効にしている場合は、bosai.sango-town/raidzen2.ktaiwork.jpからのメールを受信可能にしてください。  
※登録料・情報料は無料ですが、登録・情報受信に係る通信料は自己負担となります。

**関西電力送配電 停電情報アプリ**  
停電情報をスマートフォンがお知らせします。関西エリア全域の停電情報や作業の進捗状況や復旧見込み時間などが確認できます。スマートフォンで無料アプリをダウンロードすることで利用できます。  
※利用料は無料です。ただし、本アプリを利用するために必要な通信機器、ソフトウェア等は利用者で準備していただき、利用時に発生する通信料は利用者の負担となります。

**Yahoo!防災情報アプリ**  
緊急地震速報や豪雨予報をはじめ、さまざまな災害情報をプッシュ通知でお知らせします。スマートフォンで無料アプリをダウンロードし、地域等の設定をすることで利用できます。  
※通信料は自己負担となります。

**大阪ガス ガスの供給停止状況**  
大きな地震などでその区域のガスの供給を停止している場合や、ガス配管等が破損している場合は、ガスは使用できません。大規模地震発生時、ガスの供給停止区域や復旧進捗状況、復旧完了見込み日をホームページで閲覧できる復旧見える化システムを開発・導入しています。

大坂ガス ガス供給停止状況 検索  
https://www.osakagas.co.jp/area-exhibition/

**マイコンメーターの復帰方法**  
強い揺れを感じた場合やその他の原因でマイコンメーターがガスを遮断した場合、異常が無ければ自分で復帰操作を行って頂きます。

Step.1 Step.2 Step.3 Step.4

約3分後、ランプの点滅が消え、ガスが復旧するようになります。  
※3分たっても点滅が消えない場合は、もう一度ガス検出装置の初期設定を確認してください。

**土砂災害の種類と前兆現象**

<b>がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)</b> 地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。	<b>土石流</b> 長雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。	<b>地すべり</b> 大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、水の力によって持ち上げられた地面が広い範囲にわりゆくりと動きだすものをいいます。
---	---	---

**こんな前兆現象に要注意!!**

斜面にひび割れができる。	雨が降り続いているのに、川の水位が下がる。	がけがはる水がこぼる。
わき水の量が増える。	地鳴りの音が聞こえてくる。	地面にひび割れができる。
がけに亀裂が入る。がけから小石が落ちてる。	川が濁ったり、流木がまざりはじめる。	斜面から水が噴き出る。

**土砂災害警戒情報とは**  
土砂災害警戒情報は、大雨警報の発表中に、土砂災害発生の危険度が高まったとき、奈良県と奈良地方気象台が共同で発表する情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂災害に厳重に警戒してください。また、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、地形や地質の条件により土砂災害が発生するおそれがあるため、その他の防災情報や土砂災害の前兆現象などにも十分注意しながら、早めに避難行動をとってください。

**自助・共助・公助**  
防災・減災のキーワードとして、「自助」「共助」「公助」という言葉がよく使われます。自助とは「自分の身は自分で守る」と、共助とは「家族・近所でお互いに助け合い地域を守る」ことを指します。また、公助とは「公的機関からの救助や支援」を指しています。災害の発生を完全に予見し防ぐことはできませんが、自助、共助、公助が連携し、効果的に機能することで、被害を減らすことが可能です。

**自助** 住民、企業が自らを災害から守る

**共助** 自主防災組織等の地域社会が協力で災害から守る

**公助** 町や県、国、防災関係機関が住民等を災害から守る

**自助のポイント**

- 家の中や車の周囲を安全にする
- 非常持出品、備蓄品を準備する
- さまざまな災害の危険性を理解する(ハザードマップ等の活用)
- 家族会議などで災害時の対応や連絡方法を決めておく
- 日頃からベットのケースにならさせておく

**共助のポイント**

- 地域防災の重要性を理解する
- 防災訓練の意義を理解し、参加する
- 自主防災組織の意義、役割を理解し、参加する
- 災害時要配慮者を支える意義を理解し、支援を実施する

**避難行動要支援者について**  
高齢者、障がい者、乳幼児等の特に配慮を要する方(要配慮者)のうち、災害発生時に自ら避難することが困難で支援が必要な方を、避難行動要支援者といいます。避難が必要となった場合は、地域で協力しあいながら、近所の高齢者、障がいのある方などの安否確認、避難場所への移動を支援しましょう。

**地域ぐるみで支援しましょう**

<b>■高齢者・病人</b> ●おぶって安全な場所まで避難する。 ●複数の介助者で対応する。	<b>■目の不自由な方</b> ●声をかけ情報を伝える。 ●誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひのあたりを軽く持つてもらい、半歩前をゆっくり歩く。
<b>■肢体の不自由な方(車椅子)</b> ●階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。 ●介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。	<b>■耳の不自由な方</b> ●話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。 ●手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

**地震発生時の行動**

<b>地震発生!</b>	<b>命を守る</b> ●「頭を保護する」「大きな家具から離れる」「丈夫な机の下に隠れる」など、落ち着いて、自分の身を守る。 ●ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。
<b>1~5分</b>	<b>家族を守る</b> ●家族の安全を確認。 ●非常持ち出し品を手元に用意する。 ●火の元を確認・初期消火。 ●次の地震に注意。 ●足をケガしないように靴をはく。
<b>5~10分</b>	<b>地域を守る</b> ●隣近所の安全を確認。 ●ラジオなどで情報を確認。 ●電気のリレーを切る・ガスの元栓を閉める。 ●家屋倒壊などのおそれがあれば避難する。
<b>10分~数時間後</b>	<b>助け合いの心で...</b> ●協力して消火・救出活動。 ●壊れた家には入らない。 ●食・水・食料は備蓄でまかなう。 ●引き続き地震に注意。 ●災害情報、被害情報の収集。 ●避難所等では集団生活のルールを守る。

**周囲の状況に応じて、あわてずに身の安全を確保しましょう!**

<b>屋内では...</b> ●頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる。 ●あわてて外へ飛び出さない。	<b>山やがけ付近では...</b> ●落石やがけ崩れに注意する。
<b>屋外では...</b> ●ブロック塀等の倒壊に注意する。 ●看板や割れたガラスの落下に注意し、建物のそばから離れる。	<b>人が大勢いる施設では...</b> ●係員の指示に従う。 ●落ち着いて行動する。 ●あわてて出口に走り出さない。
<b>車の運転中は...</b> ●あわててブレーキをかけない。 ●ハザードランプを点灯し、路肩に寄せてゆっくり停止する。	<b>エレベーターでは...</b> ●全ての階のボタンを押して、停止した階で、すぐに降りる。

**電気・ガス等で気をつけること**

■地震を感じたら・・・  
使用中の電気製品のスイッチを切ってください。特にアイロンやドライヤーなどの熱器具は、火災の原因になりやすいのでプラグからコンセントを抜いてください。

■屋外へ避難する場合は・・・  
家の外に避難するときには、電気の消し忘れによる事故を防ぐため、ブレーカーは必ず切ってください。避難所などから家に戻ってきたら、家の中の電気器具などに異常がないかを確認した後にブレーカーをひとつずつ確認しながら入れてください。異常があった場合は近くの電気工事店などで点検してください。

■垂れ下がった電線を見たら・・・  
切れて垂れ下がった電線には近づかないでください。また、電線に木や看板、アンテナなどが触れていた、電柱が傾いているのを見つけた場合は、関西電力送配電ダイヤル(0800-777-3081)へご連絡ください。

■ガスの臭いが出るときは・・・  
ガスの臭いが出るときは、電気の使用を避け、ガス栓を閉めてください。さらに、窓を開けて換気をし、ガス漏れ専用電話(0120-5-19424)へご連絡ください。

**震度分布図(生駒断層帯地震)**

**このマップについて**  
このマップは、三郷町に大きな被害をもたらす可能性がある地震の「震度(揺れやすさ)」を、「地震の震源となる断層等の規模や位置などの情報」と「町内の地盤条件等」から計算し、50mメッシュごとの地域単位で示したものです。  
震度分布図は、内陸型地震のうち、三郷町への影響が大きいと考えられる生駒断層帯地震が発生した場合を想定しています。平野部では震度7と非常に大きい揺れが想定されています。なお、南海トラフ大地震が発生した場合、三郷町において最大震度6強が想定されています。

断層名	生駒断層帯
断層長さ	38km
想定マグニチュード	7.5

出典:第2次奈良県地震被害想定調査

**震度と揺れの状況**

<b>震度5強</b>	●物につかまらないうち歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本で落ちるものが多い。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。
<b>震度6弱</b>	●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ●ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
<b>震度6強</b>	●はわなにと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多い。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の前崩れが発生することがある。
<b>震度7</b>	●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ●耐震性の高い木造建物でも、まともに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多い。

徒歩時間 距離 0 約15分 500 約30分 1000m  
※徒歩時間は、東日本大震災の平均避難速度(時速2.3km)を参考に記載しています。

**非常持ち出し品の準備**  
いざというときには、ただちに避難しなければなりません。そのようなときに備えて、非常持ち出し品を常備しておきましょう。

<b>食料</b> ●飲料水(1人1日2~3リットルを目安) ●非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品など) ●携帯食(チョコレート、キャンデーなど) ●粉ミルクと哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合)	<b>救急・安全対策</b> ●常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) ●包帯、ガーゼ、ばんそうこう ●傷薬、消毒薬 ●持病のある方の薬 ●ヘルメット、防災ずきん ●ホイッスル	<b>貴重品</b> ●現金(小銭) ●預貯金通帳、印鑑 ●クレジットカード類 ●健康保険証 ●免許証など(身分を証明するもの)
日頃から、7日分の食料と飲料水を非常備蓄品として常備しておきましょう。		

<b>衣類など</b> ●衣類(厚手の物と薄い物) ●下着類 ●タオル、毛布 ●手袋、軍手 ●寝袋 ●雨具	<b>日用品など</b> ●ポリ袋(ビニール袋) ●新聞紙 ●ろうそく、ライター ●ナイフ、缶切り ●ティッシュペーパー ●ウエットティッシュ ●懐中電灯(予備電池) ●携帯ラジオ(予備電池) ●携帯電話(充電器・バッテリー) ●筆記用具(油性マジック)	●洗面用具 ●メガネ ●マスク ●使い捨てカイロ ●紙おむつ ●生理用品 ●布ガムテープ ●ロープ ●地図(ハザードマップ)
---	---	--

**備蓄品の準備**  
日頃から、7日分の食料と飲料水を備蓄品として常備しておきましょう。

<b>食料</b> ●飲料水(1人1日3リットルを目安) ●米(缶詰やレトルトのご飯なども便利) ●缶詰や菓子類 ●粉ミルク・離乳食	<b>燃料・日用品など</b> ●カセットコンロ ●予備のガスボンベ ●毛布または寝袋 ●ブルーシート ●割り箸 ●衣類 ●新聞紙 ●簡易トイレ ●布製ガムテープ ●キッチン用ラップ ●なべ
--	--

**「ローリングストック(循環備蓄)」を心がけましょう**  
ローリングストック(循環備蓄)とは、普段から使用する食材、加工品を多めに買って置き、使ったら使った分だけ買い足していくことで、常に一定量の食料を家庭に備蓄しておく方法のことを言います。この備蓄方法を行うことで、いざというときに日常生活に近い生活を送ることができます。

備える → ローリングストック → 買った分だけ買い足す → 日常で使う